

第45回 監査役スタッフ全国会議のご案内

主 題

サステナブル経営を支えるコーポレート・ガバナンス と監査役監査の在り方、そしてスタッフの役割

本年の監査役スタッフ全国会議は、昨年に引き続き、コロナ禍でのオンラインによる受講機会の拡大等、研修スタイルの変化や多様な受講方法へのニーズ等を踏まえて、会議へのご参加方法について、【会場参加】のほかに、会場で収録した映像を後日配信の動画により受講する【オンデマンド視聴】による参加方法をご用意しております。また、3つの分科会では、本年も「グループ討議」を実施します。グループ討議(オンデマンド配信の対象外です)は会場参加者のみがお参加頂けますので、グループ討議への参加をご希望の方は【会場参加】をお選びください。

日 程 2023年【会場開催】

9月14日(木) 13:00 ~ 18:20

18:40 ~ 20:10 参加者交流会

9月15日(金) 9:30 ~ 15:50

【後日オンデマンド配信】 10月初旬配信開始予定

会 場 神戸ポートピアホテル

〒650-0046 神戸市中央区港島中町6丁目10-1 TEL 078-302-1111(代)

参加費 【会場参加】 *後日配信のオンデマンドも視聴できます。 29,700円※1

【会場参加(交流会参加含む)】 *同上 39,600円※2

【オンデマンド視聴のみ】 13,200円※3

※1 資料代、2日目の昼食代、オンデマンド視聴料、消費税を含む。

※2 資料代、1日目の参加者交流会代、2日目の昼食代、オンデマンド視聴料、消費税を含む。

※3 消費税を含む。

◆ 申込方法

当協会にご登録の方(ID・パスワードを付与されている方)には、当協会HPの「[会員専用マイページ](#)」にサインイン→「セミナー」→「全国会議」→「第45回監査役スタッフ全国会議」からお手続きください。

公益社団法人 日本監査役協会

Japan Audit & Supervisory Board Members Association

<1日目> 9月14日(木)

<敬称略>

13:00～ 13:10	会長挨拶	日本監査役協会会長 松野正人
13:10～ 13:20	企画委員長挨拶	監査役スタッフ全国会議企画委員会委員長 野地嘉文
13:20～ 14:50	基調講演 「サステナビリティ経営を実現するコーポレート・ガバナンスと監査役監査」 ＜講師＞HRガバナンス・リーダーズ(株) 代表取締役社長 CEO 三菱UFJ信託銀行(株) 執行役員 内ヶ崎茂	
14:50～ 15:20	移動・休憩	
15:20～ 18:20	分科会 * 各分科会とも、方式は「講義（又は事例紹介）」＋「グループ討議」。 * 各分科会とも、冒頭の「講義（又は事例紹介）」部分のみオンデマンド対象（グループ討議は配信対象外。またオンライン上でグループ討議は行いません）。 * 各分科会とも、適宜休憩あり。	
	第1分科会「監査役スタッフ業務の基礎知識」 [対象] 主に経験2年までの方を想定した内容ですが、どなたでも参加可能 [方式] 講義＋グループ討議 ＜報告者＞ 本部監査役スタッフ研究会幹事、 JFEスチール(株) 有路正	
	第2分科会「グループガバナンスにおける親会社監査役会の役割と責務」 [対象] 全員 [方式] 講義＋グループ討議 ＜報告者＞ 関西支部監査役スタッフ研究会幹事、 ダイキン工業(株) 鶴崎眞一 ＜報告者＞ 関西支部監査役スタッフ研究会幹事、 (株)船井総研ホールディングス 貴島康一郎	
	第3分科会「三様監査の連携状況」 [対象] 全員 [方式] 事例紹介＋グループ討議 ＜報告者＞ 九州旅客鉄道(株) 赤嶺諭	
18:20～ 18:40	移動・休憩	
18:40～ 20:10	参加者交流会	

<2日目> 9月15日(金)

※ 2日目分科会は、1日目分科会と同内容です（1日目と異なる分科会をご選択下さい）。

<p>9:30～ 12:30</p>	<p>分科会</p> <ul style="list-style-type: none"> * 各分科会とも、方式は「講義（又は事例紹介）」＋「グループ討議」。 * 各分科会とも、冒頭の「講義（又は事例紹介）」部分のみオンデマンド対象（グループ討議は配信対象外。またオンライン上でグループ討議は行いません）。 * 各分科会とも、適宜休憩あり。
	<p>分科会A「監査役スタッフ業務の基礎知識」</p> <p>[対象] 主に経験2年までの方を想定した内容ですが、どなたでも参加可能</p> <p>[方式] 講義＋グループ討議</p> <p>＜報告者＞ 本部監査役スタッフ研究会幹事、 JFEスチール(株) 有 路 正</p>
	<p>分科会B「グループガバナンスにおける親会社監査役会の役割と責務」</p> <p>[対象] 全員</p> <p>[方式] 講義＋グループ討議</p> <p>＜報告者＞ 関西支部監査役スタッフ研究会幹事、 ダイキン工業(株) 鶴 崎 眞 一</p> <p>＜報告者＞ 関西支部監査役スタッフ研究会幹事、 (株)船井総研ホールディングス 貴 島 康 一 郎</p>
	<p>分科会C「三様監査の連携状況」</p> <p>[対象] 全員</p> <p>[方式] 事例紹介＋グループ討議</p> <p>＜報告者＞ 九州旅客鉄道(株) 赤 嶺 諭</p>
<p>12:30～ 13:30</p>	<p>移動・昼食（全体会議場：南館1階「大輪田」）</p>
<p>13:30～ 14:30</p>	<p>講演Ⅰ</p> <p>「人的資本経営と企業価値～日本企業の課題と監査役監査の視点」</p> <p>＜講 師＞ 一橋大学大学院 経営管理研究科 教授 野 間 幹 晴</p>
<p>14:30～ 14:50</p>	<p>休憩</p>
<p>14:50～ 15:50</p>	<p>講演Ⅱ</p> <p>「IT投資に関するリスクと監査役等の留意点」</p> <p>＜講 師＞ TMI 総合法律事務所 弁護士 大 井 哲 也</p>

◆ プログラムのポイント

今回の会議では、昨今の‘サステナブル経営’に対する期待の高まりから、企業におけるサステナビリティへの取組みの進展、有報における開示の拡充を受けて、監査役等スタッフとサステナビリティとの関わり、人的資本経営に対する取組みと監査役監査の視点、また、昨今、企業におけるAIの活用などデジタル化の進展に鑑みて‘IT投資に関するリスク’について取り上げることとし、各分野の専門家をお招きしてご講演いただきます。

分科会（3つの中から2日間で2つの分科会にご参加頂きます）では、昨年に引き続き、すべての分科会でグループ討議を実施します。

<オンデマンド配信について>

分科会における「グループ討議」部分を除き、すべてのプログラム（各分科会の冒頭の講義又は事例紹介部分を含みます）について、後日オンデマンド配信いたします（【会場参加】をお申込みの方も視聴できます）。

<基調講演>

各界の第一線で活躍されている方々から、分野に即した示唆に富むご講演をいただいております。今回の会議では、HRガバナンス・リーダーズ(株) 代表取締役社長 CEO、三菱UFJ信託銀行(株)執行役員の内ヶ崎 茂 氏より、コーポレート・ガバナンスを巡る潮流、サステナビリティ開示の現状と今後の方向性、サステナビリティ・ガバナンスのあり方、サステナビリティ・ガバナンスと監査役監査についてご講演いただきます。

<講演Ⅰ>

財務会計や企業価値評価などの研究および教育に従事する一橋大学大学院 経営管理研究科 教授の野間 幹晴 氏より、人的資本の情報開示が広がる背景、世界の動向と日本の開示制度、日本企業の論点：なぜエンゲージメントが低いのか、人的資本経営の観点から監査役等・監査役等スタッフに求められるスキル、監査体制についてご講演いただきます。

<講演Ⅱ>

IPO、企業間紛争を専門とし、システム開発紛争、情報セキュリティの各産業分野における実務にも精通したTMI総合法律事務所 弁護士の大井 哲也 氏より、業務のデジタル化やAIの導入など増加する企業のIT投資の現状と今後の見通し、IT投資にありがちなリスクと判例などに基づく失敗事例の紹介、監査役等監査の留意点、システム開発の各フェーズのチェックポイント（契約上程前の質問事項、契約時点、要件定義時点、受入れ・検収時点）、デジタル領域の情報収集・自己研鑽のコツについてご講演いただきます。

<分科会>

分科会は1日目と2日目、計2回行われます。1日目分科会と2日目分科会は同内容です。両日を通じて計2つの異なる分科会にご参加いただきます。

【お申込に際してのご注意】

- * 参加を希望する分科会について、「第1希望」及び「第2希望」を選んでいただきます。どちらが1日目になるか（2日目になるか）は人数調整次第となりますので、予めご了承ください。
- * 各分科会とも、会場の都合上、定員があります。お申し込みは「先着順」にてお受けし、定員に達し次第、締め切らせて頂きます。
- * 申込締切日前であれば、一度お申し込みした分科会を変更することができます。ご自身の「マイページ」に入ってください、「セミナー」→「全国会議」→「ご自身の参加申込全国会議」の中から、「第45回監査役スタッフ全国会議」をクリックしていただくと「受講申込情報」画面に入りますので、その画面からお手続き下さい（定員に達した分科会には「満席」表示されます）。
- * 分科会のキャンセル待ちは行っておりません。なお、定員に達した後でも、キャンセル等により定員に空きが生じた場合、システム上、お申し込みの受付が可能な状態となります。適宜「マ

ページ」にて状況をご確認いただきますようお願いいたします。

- * ご参加の分科会は、申込締切日をもって確定します。**分科会確定後の変更は受け付けておりませんので**予めご了承ください。
- * グループ討議を行う分科会のグループは、6名を基本に編成します（当日発表）。人数は若干の変動があり得ますので予めご了承ください。

第1分科会/分科会A「監査役スタッフ業務の基礎知識」

主に経験2年までの方を想定した内容ですが、どなたでも参加可能です。

本部監査役スタッフ研究会は、このほど「主要監査業務のポイントと事例研究—監査の実効性と効率性の向上を目指して—（中間報告）」を取りまとめました（8月上旬公表予定）。

講義では、同中間報告のとりまとめに当たった研究会の幹事が登壇し、「監査方針及び監査計画の策定等」、「役職員からの定例報告」及び「事業所・子会社等への往査」を取り上げ、それぞれ業務の概要、監査役スタッフが兼ね備えておくべき基本的な知識、具体的な事例や実態について解説します。

続くグループ討議では、「ディスカッションポイント（例）」を参考に、上記業務をはじめとする主要な監査業務について、参加各位による意見・情報交換を行います。

第2分科会/分科会B「グループガバナンスにおける親会社監査役会の役割と責務」

関西支部スタッフ研究会では、「グループガバナンスにおける親会社監査役会の役割と責務」をテーマに研究し、下記のディスカッションポイントに関する内容を中心に取りまとめを進めております。

当分科会では、先ず上記研究会の幹事から研究内容の概要を解説し、続くグループ討議で「ディスカッションポイント（例）」を参考に、「グループ経営の推進体制について」、「親会社監査役と子会社取締役（社長を含む全取締役）の連携」、「親会社監査役と子会社監査役の連携」、「親会社監査役と内部監査部門の連携」等の論点について、参加各位による意見・情報交換を行います。

第3分科会/分科会C「三様監査の連携状況」

「監査役監査」、「会計監査人監査」、「内部監査」のいわゆる三様監査の連携は、それぞれの目的や立ち位置が異なるものの、監査の効率化や実効性向上の観点から、定期的に双方向によるコミュニケーションの重要性は高まっており、また、改訂コーポレート・ガバナンス・コードでは、内部監査部門によるデュアルレポートラインの構築が明記されるなど、内部監査部門との連携の促進と深化が社会的に期待されているものと言えます。

ひとことで「三様監査の連携状況」と言っても、その内容は多岐にわたりますが、事例紹介では、九州旅客鉄道(株)監査等委員会室長の赤嶺 諭氏より、会計監査人との連携として、会計監査人の監査の相当性の判断、日本公認会計士協会「倫理規則」改正に伴う対応として、会計監査人との報酬に関するコミュニケーション、非保証業務提供の際の事前了解手続等、また、内部監査部門との連携として、往査における連携、監査役へのデュアルレポートラインの状況、連携にあたっての監査役スタッフの準備・対応等の実務の取組状況についてご紹介いただきます。

続くグループ討議では、「ディスカッションポイント（例）」を参考に、上記の各論点を中心に、参加各位による意見・情報交換を行います。

<講師略歴>

内ヶ崎 茂（うちがさき・しげる）

早稲田大学大学院法学研究科修士課程および商学研究科修士課程修了。日本で初となるサステナビリティ・ガバナンスの実現を目指すコンサルティング会社である「HR ガバナンス・リーダーズ」を設立し、日本を代表するグローバル企業のボードアドバイザーに携わる。金融庁や経産省に提言を行う傍ら、会社としてステewardシップ・コードを受け入れ、ICGN、PRIや経団連などにも加盟。企業と投資家を結ぶ存在として日本のガバナンス改革をリードする。書籍・論文・テレビ出演・新聞掲載・講演会等多数。【主な著書等】『サステナビリティ・ガバナンス改革』（日本経済新聞出版、2021年12月）

野間 幹晴（のま・みきはる）

一橋大学商学部卒業、同大学大学院博士後期課程修了（博士（商学）取得）。2002年横浜市立大学専任講師を経て、2004年10月より一橋大学大学院国際企業戦略研究科助教授。同准教授等を経て、2019年より現職。『退職給付に係る負債と企業行動』（中央経済社・2020年）で日経・経済図書文化賞、日本会計研究学会太田・黒澤賞、国際会計研究学会学会賞、日本経済会計学会学会賞を受賞。10年から11年まで、コロンビア大学ビジネススクール・フルブライト研究員。

大井 哲也（おおい・てつや）

TMI総合法律事務所パートナー弁護士。TMIプライバシー&セキュリティコンサルティング代表取締役。2001年弁護士登録。クラウドコンピューティング、インターネット・インフラ/コンテンツ、SNS、アプリ・システム開発、アドテク、ビッグデータアナリティクス、情報セキュリティの各産業分野における実務に精通し、情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）認証機関公平性委員会委員長、社団法人クラウド利用促進機構（CUPA）法律アドバイザー、経済産業省の情報セキュリティに関するタスクフォース委員を歴任する。

◆ 申込方法

- ご自身の「会員マイページ」にログインしていただき、「セミナー」→「全国会議」→「第45回監査役スタッフ全国会議」よりお手続きください。オンデマンド配信のみ視聴される方も下記締切日までにお申し込みください。
- **お申込締切日は8月30日（水）**です。
- 【会場参加】及び【会場参加(交流会参加含む)】をお申込された方には、**「参加票」を印刷出力していただき、会議当日、会場受付にご提出**ください。
- 参加費のご請求につきましては、会社宛て請求の場合、9月末締めで一括して請求書を発行し、10月中旬に貴社の議決権行使者（当協会に代表として登録されている監査役等）宛に送付いたします。なお、請求書の送付先をご自身宛にしたい場合や会社宛て請求ではなく個人払い等その他の請求方法をご希望の場合は、参加登録画面の「請求先」入力の際、入力画面に従って請求先をご指定ください。
- 【会議参加のお取消し及びお申込内容のご変更について】
ご自身の「会員マイページ」よりお手続きいただきます。ご自身のマイページに入っていただき、「セミナー」→「全国会議」→「ご自身の参加申込全国会議」の中から、「第45回監査役スタッフ全国会議」をクリックしていただくと「受講申込情報」画面に入りますので、その画面からお手続き下さい。**9月7日（木）**までに会議参加を取り消された場合は、参加費用は発生いたしません。9月8日（金）以降のお取消しにつきましては、参加費用全額をご請求申し上げますので予めご了承ください。

◆ オンデマンド配信の視聴について

- 10月初旬（※日程未定）以降、お申し込みをされた方宛に、視聴が可能となった旨、電子メールにてご案内いたします。
- ご自身の「会員マイページ」にログインして頂き、「セミナー」→「全国会議」→「ご自身の参加申込全国会議」のページからご視聴ください。
- お申し込みをされた方（【会場参加】の方、【オンデマンド視聴】の方とも）にご視聴頂けます。
- 配信期間（視聴可能期間）は2週間程度を予定しています。

◆ 交通および宿泊の手配について

会場までの交通旅券および宿泊等の手配は、各自(各社)負担にてご自身で行って下さい(当協会では取り次ぎ等は一切行っておりません)。

第45回 監査役スタッフ全国会議 企画委員会

委員長	野地嘉文	オリンパス(株)
	池田邦子	ソフトバンク(株)
	芹澤浩子	富士通(株)
	小西洋平	AIGジャパン・ホールディングス(株)
	与語雅之	愛知電機(株) (2023年3月迄)
	明谷卓哉	西日本電信電話(株)
	満田一雄	九州電力(株)

(順不同・敬称略)

<お問い合わせ>

会員マイページについて

専用サポート窓口 03-6808-7604 平日 9:00~18:00 ※土日祝休業

会議に関するお問い合わせ

日本監査役協会 事業部業務第2課 山形 070-3972-1713
田村 070-3971-0483